

## 「全国イノベーションコーディネーターフォーラム in 仙台 復興現場視察会」で現地視察を案内しました(2011/11/2)

11月2日(水)、科学技術振興機構(JST)が主催する「全国イノベーションコーディネーターフォーラム in 仙台 復興現場視察会」で当センター津波工学研究室が石巻市・仙台市での現地視察の案内役をつとめました。このフォーラムは、全国で産学官連携に従事するコーディネータのためのフォーラムで、コーディネータのノウハウや考え方を共有しスキルアップを図る目的で開催されています。本年度は復興・再生を目指す仙台市を会場とし、これからのコーディネート活動の中でも特に、震災復興に結びつく効果的な活動を議論することを目的とするフォーラムとして開催されました。フォーラムは2日間にわたって行われ、2日目に復興現場の視察が行われました。

当日は、全国からの集まった173名のコーディネータの方達が参加しました。朝8時に仙台駅を出発し、大型バス5台で移動しました。バス移動では、当センターのアナワット研究員と保田研究推進支援員氏、仙台市職員3名で、バス5台をローテーションし車内でプレゼンテーションを行いました。アナワット研究員と保田研究推進支援員は「東北地方太平洋沖地震津波の発生メカニズム・被害の特徴」という内容で報告しました。10時半から11時半までは石巻専修大学で石巻市副市長からのご挨拶をいただき、石巻市産業部産業復興課課長から石巻市の被災・復興状況の説をいただきました。12時から13時までは石巻市内、石巻港等の被害状況を車窓から視察しました。最後は、15時に仙台市の井土搬入場及び仮設焼却炉を視察しました。



アナワット研究員による車内プレゼン



仙台市井土搬入場での説明の様子



仙台市井土搬入場



仙台仮設焼却炉